

## 別冊のぽすくら

あら、こんなところにスタンプが【1】

やわらのぞみ／著

### はじめに

記念スタンプ集めてますか！

集めてるよね。そうだよ。ところで、記念スタンプはどこにあるのだろう、というのは、スタンプを探す上で大事なポイントです。すぐ浮かぶのは、駅、道の駅、SAPA、空港などの交通の要衝。博物館、資料館、タワー、城郭などの見学する場所。そして、旅館やホテル、神社仏閣など、気をつけて見ていると結構あるものです。

そして、この本は、そうした思い浮かぶスポット「以外」をかき集めています。

へー！そんなところにスタンプがあるんだ！と思ってもらえたら幸いです。

あくまで私が足でてくてく探して入手したものが中心ですので、まだまだ世の中には見知らぬ、そして隠れた名スタンプがたくさんあることと思います。

教えてあげてもいいぜ、という方はぜひやわらのぞみ宛ご連絡くださいませ！

あら、こんなところにスタンプが。

スタンプ探しの旅は、超身近な場所からスタートしましょう。

ATMに



ATM (automated teller machine)、現金自動預け払い機が無い生活など今や考えにくいですね。振り込みなどはネットを通じてできてしまう世の中ですが、現金を引き出すにはATMが便利です。金融機関だけでなく最近はコンビニにも設置されています。

まさか！ATMにスタンプなんて！と思うでしょ？私もそう思う。でも、数ある金融機関のうち、茨城県にある、茨城県民信用組合だけは別格なのです。

百人一首支店めぐり、という主題で、茨城県民信組の支店約80箇所をめぐるというもので、本来は、茨城県民信組に口座がある人を対象としたラリーなのです。多くの支店ではATMにスタンプがずっと置かれた状態になっており、口座の無い(台紙の無い)私達でも押印することができます。

惜しいことにデザインが全店共通であり、店舗番号である数字と、店舗名称が異なるだけです。一部に細部が違う印がありますので、それを探すのもおもしろいと思います。

中には支店ではなく出張所があり、土日のATMが無く、平日の営業時間に窓口に行かねば押印できない……というところもあります。

他の金融機関には無いのか、と探してみると、期間限定でラリーをやった、というところはいくつかあるようです。

代表は、スカイツリーのお膝元東京東信用金庫、通称ひがしんです。



スカイツリーのソラマチに店舗が入ったことを記念して、スタンプラリーが開催されました。公式のwebサイトでも案内がなかったのですが、墨田区の店舗限定で、上記画像のような立派なスタンプがATMに設置されていて、歯ブラシとか景品がもらえるラリーだったようです（既に終了しています）。

#### デパートのインフォメーションに

スーパーマーケットに常設のスタンプがあった、という話は今のところ残念ながら聞きません。けれど、デパートまで規模が大きくなると、いくつかの例があるようです。

まずは、日本橋三越。ライオン口のインフォメーションにこのようなスタンプがあります。



そもそも昭和初期に日本国内で第一次スタンプブームが発生したとき、その主な会場になったのはデパート（百貨店）でした。押印会場が設けられ、行列をして競ってスタンプを押した……という時代がたしかにあったのです。

その名残……なのかどうかはわかりませんが、日本を代表する百貨店である三越の日本橋店にレトロに見えるけれど、平成時代になってから作られたスタンプがあるのはとても嬉しい話です。

どうせならば他の三越にもあればよいのですが、今のところここだけで発見されています。



続いては、ギャルの聖地、渋谷の109です。まさか！と思う場所ではありますが、ちゃんと入ってすぐのインフォメーションに一時期は台紙とともに置かれていました。

スタンプマニアの友人達に、109にあるよーと言いましたところ何人かの勇者が挑戦したようです。

みなさん様に、緊張した、恥ずかしかつたと申し  
ておられました。私も結構緊張いたしました。

でも行く。スタンプのためならえんやこら。

### 映画館に



映画館そのものの記念スタンプというよりは、映画  
鑑賞記念スタンプです。パンフレットにスタンプ押  
印欄がついているというパターンが多いようです。

基本的にアニメ映画のときに設置される傾向があ  
ります。ポケモン、ドラえもん、プリキュア、仮面  
ライダーが定例。新しい映画のたびに新しいスタ  
ンプが設置されます。

中でもポケモンとドラえもんについては映画館の  
名前が入るようになっています。当然映画館ごと  
に違うわけで、全国60館などで同時上映だとすると、  
もし全部集めようと思ったらロードショーのあい  
だに全店回る必要があります。無理だ。



映画は見なくてもスタンプだけ押すことは可能で  
はありますけれど、そこまでは……。

私個人的には映画をほとんど見ません。けれど、珍  
しく見に行った「けいおん！」でもスタンプがあっ  
たのは嬉しかったなー。



パンフレットにもちゃんと押したよ！

### 世界の山ちゃんに



「幻の手羽先」で知られる世界の山ちゃんは、名古  
屋を中心に全国に店舗を持つ居酒屋さんです。現在  
は終了していますが、スタンプラリー企画を行った  
ことがあります。賞品は手羽先一年分。

賞品はともかく各店舗に設置されたスタンプのデ  
ザインが秀逸で、ちゃんとその場所に依じて違うデ  
ザインなのです。大きめだし、日付を書き入れる欄  
もあり、記念に押して行くということを想定したも  
のとなっています。



企画終了後にスタンプは廃棄した、とする店舗もあります。とても残念です。

かたやラリー企画終了後に開店した店にもスタンプは設置されています。居酒屋店舗ではなくお持ち帰りの簡易カウンターだけのお店にもあります。

山ちゃんはグッズなども積極的に販売しているし、おもしろいチェーン店だと思います。居酒屋さんなんだから遊び心あっていいよね。

あ、そうそう、何も買わずに食べずに飲まずにスタンプだけ押させて欲しいってのは、ちょっとどうかなと思います。400円で手羽先一人前お持ち帰りだってできるんだから、それ注文して、待ち時間にスタンプ押すってのが健康的でお互い気持ち良いのではないかな。

## 大学の守衛室に

まだ未収ですが、慶応大学の守衛室に記念スタンプがある、という話が有ります。

大学も赤門などは有名観光地となっていますが、スタンプの有無は不明です。一度行って確認してみる必要がありそうですね。

学祭などの記念に手作りの消しゴムスタンプを作ったという話ならば、他にもあるかと思います。

## 郵便局の研修所に

通常記念スタンプというのは、ビジター、つまり観光客が押印することがメインです。

ところが中には関係者しか押印できないようなものもあるのです。

現在もあるかどうかはわかりませんが、郵政省当時全国各所にある研修所に記念スタンプがあったそうです。伝聞なのは私はビジターであり、郵便関係

者ではないからです。押印のみをお願いして頂いたりしました。

他の例では、三菱重工のリクルートサイトを見ると、そこに記念スタンプの文字が見えます。大企業だとそういうこともあるのでしょうか。

記念スタンプではありませんが、宮内庁内郵便局の風景印というのと同じようなものではないでしょうか。郵頼でしか通常は入手することができません。

私の友人は工事のために宮内庁に出入りしており、その折に郵便局に立ち寄り、風景印などを押印してきてくれました。

かなり特殊なケースですね。同じように一般利用が出来なかった財務省内分室は廃止となっていしまいました。

## キャラ物ショップに



人気のキャラクターというのはいつの時代にもいるものです。まさに時代の寵児ですね。

そうしたキャラクターのグッズを販売する店にスタンプが置かれる場合があります。中でも「なめこ」

と「カピバラさん」については、パーマネントなお店ではなくキャラバンのようにショッポの全国巡回をしたときにスタンプを設置しているようです。

なめこのスタンプについては、過去に一覧を作成し、blogに掲載したことがあります。せっかくですので再掲いたします。

- 東京なめこ市場 週替り共通印 2012/9/4~10/2
- 東京なめこ市場 周囲レール駅長なめこ  
2012/9/11~9/17
- 東京なめこ市場 長月うさぎなめこ 2012/9/18  
~9/24
- 東京なめこ市場 なめこ先輩となめ子  
2012/9/25~10/2

- 札幌なめこ市場 2012/10/26~11/11
- 横浜なめこ市場 2012/11/15~11/25
- 名古屋なめこ市場 2012/11/28~12/3
- 仙台なめこ市場 2012/12/7~12/16
- 広島なめこ市場 2012/12/20~12/26
- 大阪なめこ市場 2013/1/2~1/7
- 福岡なめこ市場 2013/1/9~1/21
- 東京なめこ市場 ありがとうゴール 2013/1/25  
~2/11

□NEO なめこ市場 2013/5/1 の京都から

- NEO なめこ市場東京 週替り共通印 2013/8/7~  
8/23・8/26~9/9
- NEO なめこ市場東京 砂浜 2013/8/15~8/23
- NEO なめこ市場東京 虫取り 2013/8/26~9/2
- NEO なめこ市場東京 花火 2013/9/3~9/9

- 台湾集集線 集集駅
- 台湾集集線 濁水駅
- 台湾集集線 車テイ駅

以上が現時点で判明している分です。

カピバラさんについては、カピバラさんの本「カピバラさん キュルキュルファンブック」にそれまでのスタンプが収録されています。



この本以降の現状はあまり把握できてはおりません。けれど、ある時突然に、東京駅一番街のTBSショッポにドラマ大奥とのコラボスタンプが置かれたことがありました。すぐ近くにカピバラさんショッポがあるのにもかかわらず、です。



そうそう東京駅一番街と言えば、キャラクターストリートに加えて、おかしランドもあります。そのキョロちゃんショッポにもスタンプがありました。気づいたときにはもう結構使い込まれた感じだったので、開店時からあったのかもしれない。

## コンサート会場に

ネットでさまざまなキーワードを入力して検索していると、著名アーティストのコンサート会場に記念スタンプがあった、という話を見かけます。中島みゆきさんの名前を何度か見ましたし、渡辺美里さんさだまさしさんなど、他のアーティストのケースもちらほらあります。

コンサートに行かないと入手できないというのはかなりのハードルです。が、まさかそのスタンプだけ欲しい人がいるなんてのは想定外なんじゃないかな。

## ラーメン屋さん

ラーメン屋さんのスタンプ、というと、いわゆるスタンプカードのようなものが思い起こされます。一回食べるとスタンプ一個。カード全部貯まるとトッピングサービスとか、餃子サービスとか、そういうの。

そうではないれっきとした「記念スタンプ」があるお店もいくつか存在しています。



例えばこちらは、会津喜多方のラーメン館。お土産ショップと食堂が同居していて、スタンプはお土産ショップですので、厳密にはラーメン屋ではないかもしれませんが。



こちらは同じく喜多方の坂内食堂。行列ができる名店はもはや観光名所ですので、こうしたスタンプがあることに不思議はありません。

また、北海道札幌市のラーメン共和国には、共和国の入国スタンプもありますが、それ以外に各お店のスタンプも存在するようです。

先に紹介した世界の山ちゃんの系列ラーメン屋さんにもあるそうですが、私はまだ未訪問です。

## 護衛艦に



ときどき護衛艦が港に接岸して、見学会が開催されることがあります。大きな船ですし、普段は見られない裏側が見られるので毎回大盛況です。

そして、たいていその護衛艦には記念スタンプが複数設置されています。子供たちに喜んでもらうためという側面もありますでしょうが、デザインが硬派でカッコ良いものが多く、わざわざ押しに行く価値があるなと感じます。



とはいえ、なかなかスケジュールを調整するのは難しいです。

せめて過去にあったスタンプなどを収集している方がwebサイトなどに展示していただけたら個人的には大変満足なんですけれど……。

## 大潟富士の麓に



大潟富士については「標高0メートルの山」としてコネタ記事に書かせていただきました。説明はそこから引用します。

曇り空の下、私は山麓に到着しました。車を脇にとめて、山頂を見上げます。まずは、深呼吸。よし、登るぞっ！

登山道は、階段状になっていますので、らくちんです。一歩二歩……。

……やったー！ 登頂成功です。ばんざーい。所要時間、えっと、15秒？ 20段ほどの階段で頂上に達しました。

ここ大潟村は、八郎潟という湖を埋め立てで作った、人工の村です。それまで湖だったところが、干拓によって地面になり、人が住むようになり、さまざまな農業が行われています。まさに街づくりをゼロから行ったわけですね。相当大規模な工事だったのだろうなあ。

そんな来歴を持つ村ですから、地面が海面よりも低い位置となっています。そこに人工の山を作りました。高さ、3.776メートル。富士山の1/1000です。

すると山頂部分の海拔が0メートルという、不思議な山ができあがったのでした（あ、ちなみに、標高と海拔は同じ意味と言ってよいと思います）。

一番高いところが、0メートルなのですから、必然的に「最も低い山」となるわけで。ただ、人工的に作った山ですので、そのへんは、あんまり真剣に考えず、洒落としてとらえてあげるのがよいかと。

山麓には、登頂記念の記帳簿と、記念スタンプまで置かれています。風雨にさらされて、スタンプはちょっとキレイには押せなかったけれど、まさかあるとは思わなかったので、嬉しかったな。

この記事が公開されたのが2005年。この時点では文中にある通り「風雨にさらされて」キレイに押せなかったのですが、その後2008年に訪れた時、まさかの新印になっていました。それからまた時間が経っていますので、今ではどうなっているかわかりませんが、山は村のシンボルとしてたち続けています。

## 県境に



山形県と新潟県の県境にあるスタンプです。専用の小屋があって、その中に置かれています。

何度もこの県境そのものは通過していたのですが、国道でばかり。実はこのスタンプは旧道の街中にあるんですね。

道の駅「笹川流れ」のお姉さんに詳しくイラストつきの地図を描いていただき（仲よしだったのだ）、おかげさまで辿り着くことができました。

しかし、面白いですね。こんなところに県境があるなんて。ほんとに集落のど真ん中なんですよ。

バス停があるんですが、上りと下りで置かれてる県が違ふんですよ。

### 階段の途中に



日本唯一の階段国道 339 号線。まさにその階段になっている部分に中腹に、このスタンプはあります。

ここも今や立派な観光地ですからね。そういう意味ではあっても不思議はありませんが、歩いて通った人じゃないと気づかないという場所に置いたのは慧眼です。よい記念になりますものね。

山道国道として知られていた甲子峠の国道表示は撤去されてしまったそうですね。そこにスタンプがあったという話は聞きませんが。

### 個展の会場に



絵画や彫刻など芸術作品の個展はさまざまところで開催されています。そうした作品を作成する作家の中にもスタンプ好きの方はいらっしゃって、ごく稀にですが素晴らしいスタンプが設置されるケースがあります。

こちらは、中野区の旅屋という文房具店で開催された、エハガキ華さん

(<http://jadranskomore.blog102.fc2.com/>) の個展「アマオオイ王国への旅」に設置された、もちろん華さん作のスタンプです。世界観を表現した上に個展を見に行った記念になる一石二鳥以上のすぐれたスタンプだと思います。華さんとは Twitter などでお話させていただく機会もありましたし、blog を愛読させていただいております。ぜひとも押しに行きたい！と思っていたのにもかかわらずなかなか時間がとれず、なんと最終日になってようやく訪れることができました。

ちょうど華さんもいらしてお話させていただきましたし、びっしりと可愛いイラストとともに書き込まれた手帳などもじっくり拝見させていただきました。うう、すごい。すばらしい。

手書きで旅の記録を残す、ということに私も憧れがあつて、上手な人の真似っこしたい、と思うのですが、ああ、足元にも及びようがありません。セ



ンスとキャリアが結実するとこんなによいものが作れるのだなあ、としみじみ感心いたしました。

### 街の中のいたるところに

「スタンプラリー」というと今ではJRのポケモンですとか、道の駅などのラリーを思い起こす方が多いでしょうか。未だに子供の遊びだって思ってる方もいらっしゃるのが不思議なんです。子供の遊びで、道の駅ラリーなんてやりませんよ。

ラリーに参加する理由はさまざまです。賞品が欲しいから、とか、楽しいから、という理由に加えて、スタンプが素敵だから、とか、めぐるのが好きだからなんていう本質的な楽しみを見出す方もいらっしゃるんじゃないかな。

私が好きなラリーの条件は、今まで行ったことが無いところに誘ってくれて、なおかつスタンプのデザインが優れていることです。

そんなスタンプラリーを期間限定ではなく、いつでもやっているところが案外あるものです。

いずれそうしたいつでもラリーについては別にまとめたいと思っていますので、ここでは代表を3つほど。

茨城県古河市では、まくらがの里散歩道として、市内3コースを作成し、マップとスタンプ帳を販売しています。スタンプは、市内の名所旧跡を中心としたところに、専用の箱に入れて設置しています。なんとその数42箇所。

このスタンプのデザインが、かなり秀逸です。大きくてキレイ。



ただ、企画が始まってから随分と時間が経ってしまったために、スタンプの劣化、盗難や、状況の変化（工事などでスタンプ設置箇所が変わったりしている）が発生しています。劣化については、スタンプゴムの貼り替えなどを行っているようで、少し長い目で見れば解決しそうです。が、その交換時期にあたってしまったのか、私が訪問したときには、いくつかのスタンプが置かれていませんでした。箱を開けたらハズレみたいな状態でしたので、がっかり度が結構高く……。

市役所に問い合わせをすれば何かしらの手立てをこうじてくださるようですが、平日のみですので、なかなかタイミングがつかめないでいます。

東京都の足立区でも恒常的なラリーが行われています。ラリーという言い方も正しくないかな。スタンプハイクのようなものですね。

シヤチハタ印なのでスタンプの劣化が心配だったのですが、驚くべきことにどのスタンプもインク切れなどが無く、キレイに印影を得ることができました。区内に散らばって24カ所もあるのに、こまめに点検されているのでしょうか。

無人の公園などに専用のケースが設置されているのですが、このケースがまた秀逸で。まるでかぐや姫の入った竹のような形状で、横のロックをはずし、

蓋をぱかりと開けるとスタンプとスタンプ押印で  
きる台が出てきます。



全部回った人には粗品がもらえるとありま  
したので、足立区役所に行きましたが……うん、本当に粗  
品でした。100円ショップで適当に買ったような品  
というか、ここから選んでくださいとドンとダンボ  
ール箱を置かれたのですが……欲しいもの何もな  
かったよ。

それでも完走している人は結構たくさんいて、一ヶ  
月で数十人くらいのペースでゴールに来ている人  
はいらっしゃるようです。ということは、みなさん  
賞品が目当てというわけではないのだろうと思  
うのです。

さて最後は、栃木県の鬼怒川温泉と川治温泉で開催  
されている小さなラリーです。

鬼怒川温泉には中心に鬼怒川が流れており、橋がい  
くつか架けられています。そのもとにスタンプが  
設置されていて、それを集めるというもの。川治温  
泉は地域内のちょっとした見どころにスタンプが  
設置されています。

いずれもスタンプの数は多くなく、歩いて半日もし  
くは一日程度で終了できる規模のラリーになっ  
ています。

特筆すべきは、川治温泉のとあるスタンプ設置箇所。  
「おなで石」とありましたので、お地蔵さんか何か  
かなと思って行ってみたのですが……。女子赤面の  
まあなんと立派な形の石が並んだ祠で……。

子宝に恵まれそうなお利益ありげな場所でした。う  
ん、それはいいのです。民俗学的にも重要なこと  
です。私としてはそういうところに設置されたス  
タンプというのが、前代未聞なのではないか、と思  
うのです。秘宝館などにはスタンプあるケースもあ  
りそうですが、街角にある立派な姿の石の脇にそれ  
を描いたスタンプが置かれているのはなかなか見  
られないケースじゃないかなと思うのです。スタ  
ンプに書かれたおなで石はデフォルメされてごく  
普通の石に見えるのが、ちょっとずるいと思いま  
すけれど。



## おわりに

---

---

いざ書き上げてみると、うーん、割と普通の内容になっちゃったな、驚きが少ない気がするな、なんて思っています。いかがでしたでしょうか？

スタンプに関するお話は、切り口次第でまだまだたくさんしたいことがあります。最近行ってきたラリーの参戦記とかもおもしろいですし、テーマに沿った収集のお話とか、保管方法、整理方法の話もあつたらよいですね。

気まぐれに発行されるぼすくら別冊は、気長にお待ちいただけると幸いです。

別冊のぼすくら

あら、こんなところにスタンプが。パート 1  
(コピー誌 A5 版)

頒布価格 100 円

2013 (平成 25) 年 10 月 第一版発行  
作、編集、デザイン：やわらのぞみ

Twitter ID:sampoya